

Hitachi Koki

日立コードレスセーバソー

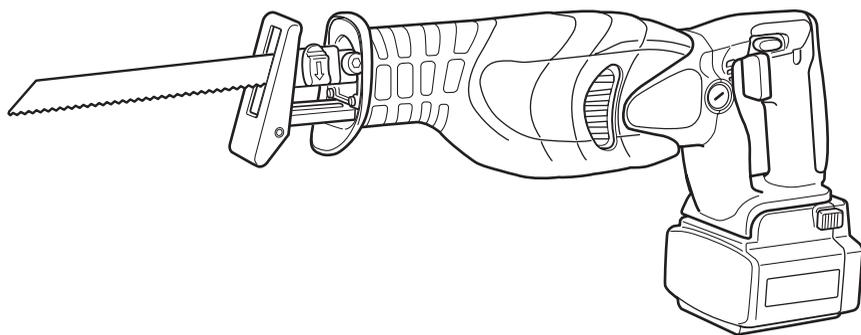
CR 24DV

取扱説明書

このたびは日立コードレスセーバソーをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



HITACHI

目 次

	ページ
コードレス工具の安全上のご注意	2
コードレスセーバソーの使用上のご注意	6
各部の名称	7
仕 様	8
標準付属品	9
別売部品	9
用 途	12
蓄電池の取りはずし方・取付け方	12
充電方法	13
ご使用前に	16
使 用 方	16
切 り 方	20
保守・点検	24
ご修理のときは	26
全国営業拠点	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警 告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0 °C 未満または温度が 40 °C を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などで覆わないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。

- めれた手で、充電器のさし込みプラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体、充電器、蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、めれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

 **警 告**

- ⑥ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを、使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

 **注 意**

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

 **注 意**

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行なう作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

 注 意

- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。
軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。
非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。
事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - さし込みプラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。
異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。
発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
 - 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この機体は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申しつけください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

コードレスセーバソーの使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスセーバソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警 告

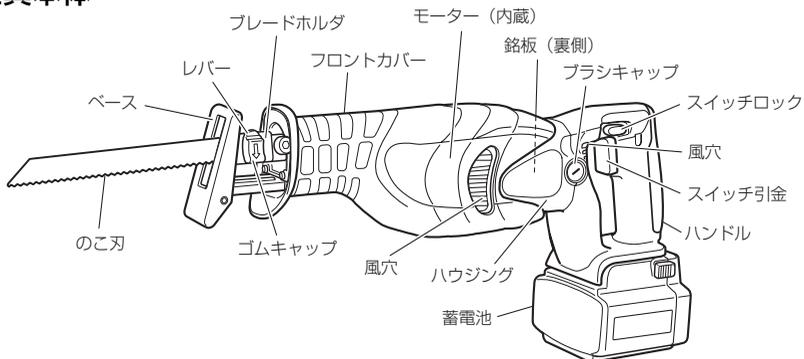
- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると、のこ刃（ブレード類）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中、工具本体の調子が悪かったり、異常音がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ④ 誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃（ブレード類）や工具本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

注 意

- ① のこ刃（ブレード類）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、のこ刃（ブレード類）や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ 使用直後ののこ刃（ブレード類）は高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 工具本体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。

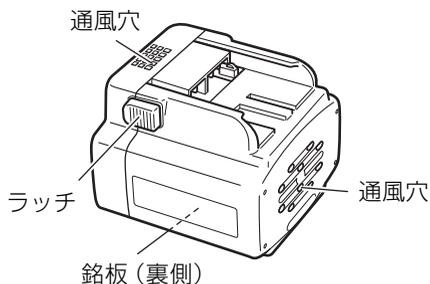
各部の名称

1. 工具本体



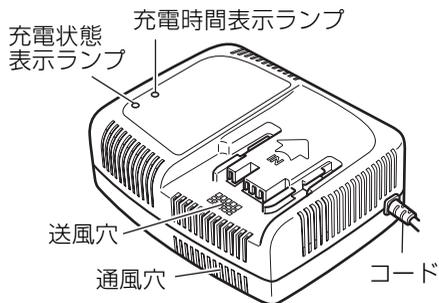
○蓄電池 24V (EB 2430R)

※蓄電池別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。



2. 充電器 (UC24YHA)

※充電器別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。



仕 様

1. 工具本体仕様 (CR 24 DV)

切 断 能 力	軟鋼パイプ 外径 100 mm、塩ビパイプ 外径 100 mm
木 材 厚 さ	100 mm
軟 鋼 板 厚 さ	10 mm
モ ー タ ー	直流モーター
無負荷ストローク数	0 ~ 2500 min ⁻¹ {0 ~ 2500回/分}
ス ト ロ ー ク	28 mm
蓄 電 池	円筒密閉形ニッケル水素電池
蓄 電 池 電 圧	24V
質 量	4.3kg (EB 2430 R 装着時)

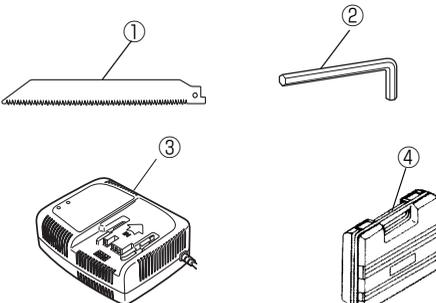
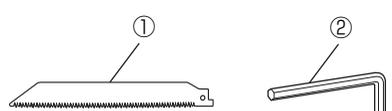
2. 充電器仕様 (UC 24 YHA)

入 力 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電 圧 100 V
充 電 時 間 (気温 20℃)	EB 2430 R……約 18 分 [詳しくは、13 ページを ご参照ください。]
充 電 電 圧	24V
充 電 電 流	1.0A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	1.1kg
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃

3. 蓄電池仕様 (別売部品を含む)

	EB 2430R
容 量	3.0Ah
残量表示ランプ	なし

標準付属品

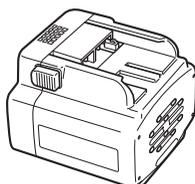
<p>CR24DV (RCK) 充電器・ケース付</p>	 <p>① のこ刃 No.103 1 個 ② 六角棒スパナ 1 個 ③ 充電器 (UC 24YHA) 1 台 ④ プラスチックケース 1 個</p>
<p>CR24DV (NN) 蓄電池・充電器 ケース別売</p>	 <p>① のこ刃 No.103 1 個 ② 六角棒スパナ 1 個</p>

別売部品

..... (別売部品は生産を打ち切る場合があります) ありますので、ご了承ください。

1. 24 V 蓄電池

○ 予備の蓄電池としてご用意されると便利です。



形 名	EB 2430R
コードNo.	00322755

2. 各種のこ刃

作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したのこ刃を使うことが大切です。下表を参照し、加工物に適したのこ刃をご使用ください。

- 注** ・表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をセーバソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをセーバソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
- ・加工物の形状・厚さと、のこ刃形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

表1. ハイスブレード

のこ刃 番号	最大加工物寸法(mm)		のこ刃の寸法(mm)			山 数 (山/25.4mm)	コードNo.	包 装 数 量
			全長	幅	厚さ			
No.1	鋼 管	外径 90	195	18	0.9	14	959610	5 枚入
No.2		外径 30	120				958182	
No.3		外径 30	120			958183		
No.4	木 材	厚さ 70	160			3	959611	
No.5	プラスチック管	外径 30	120			9	958185	
	木 材	厚さ 30						
No.8	プラスチック管	外径 90	205	9	958188			
	木 材	厚さ 90						
No.9	鋼 管	外径 90	300	18	14	996427	3 枚入	
No.95	ステンレス鋼管	外径 90	195	18	959799			
No.96		外径 30	120		959800			

表2. バイメタルブレード(BI-METAL) : 丈夫で折れにくいのが特徴です。

のこ刃 番号	最大加工物寸法(mm)		のこ刃の寸法(mm)			山 数 (山/25.4mm)	コードNo.	包 装 数 量
			全長	幅	厚さ			
No.101	鋼 管 ステンレス管	外径 60	150	18	0.9	10	318611	5 枚入
No.102		外径 90	228	18	0.9	10	318612	
No.103		外径 60	150	18	0.9	14	318613	
No.104		外径 90	228	18	0.9	14	318614	
No.105		外径 60	150	18	0.9	18	318615	
No.106		外径 90	228	18	0.9	18	318616	
No.107		外径 60	150	18	0.9	24	318617	
No.108		外径 90	228	18	0.9	24	318618	
No.121	木 材 ALC	厚さ 90 外径 90	305	18	1.3	6	318619	5 枚入
No.131	鋼 管 ステンレス管	外径 90 厚さ 90	305	18	0.9	10~14	318620	
	ALC	厚さ 90						
No.132	鋼 管 ステンレス管 木 材	外径 90 厚さ 90	203	18	1.3	6~11	318621	

表3. 湾曲バイメタルブレード (BI-METAL) : 丈夫で折れにくいのご刃です。

のご刃 番 号	最大加工物寸法(mm)		のご刃の寸法(mm)			山 数 (山/25.4 mm)	コードNo.	包 装 数 量	
			全長	幅	厚さ				
No.141	鋼 管 ステンレス管	外径 60	150	18.5	0.9	14	322602	5枚入	
							003461	50枚入	
No.142		外径 115	200	18.5	0.9	14	322603	5枚入	
							003462	50枚入	
No.143		外径 130	250	18.5	0.9	14	322604	5枚入	
							003463	50枚入	
No.145		No.146	外径 60	150	18.5	0.9	18	322605	5枚入
No.147			No.152	外径 115	200	18.5	0.9	18	322606
		003464							50枚入
No.153		No.154	外径 130	250	18.5	1.3	14	323579	5枚入
No.155	外径(鋼管) 175 外径(ステンレス管) 130		300	18.5	1.3	14	323580		
		No.156					ステンレス管	外径(鋼管) 175 外径(ステンレス管) 130	300
木材 ALC 鋼管	木材(木材、ALC) 150		300	18.5	1.3	8			

用 途

- パイプ、アングルの切断
- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

蓄電池の取りはずし方・取付け方

⚠ 警 告

- 蓄電池の取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチが切れていることを確かめてください。またスイッチロックをロック側（右側）へ押し込んでください。
思わぬ事故のもとになります。

1. 蓄電池の取りはずし方

工具本体をしっかり支え、蓄電池上部のラッチ（2か所）を押しながら抜くと、取りはずせます。



2. 蓄電池の取付け方

上図を参考に蓄電池の取付け方向に注意し、蓄電池を「カチッ」と音がするまでさし込みます。

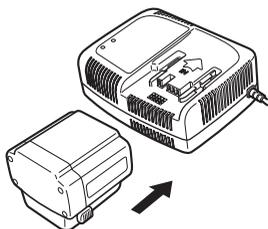
充電方法

この充電器は蓄電池を冷却しながら充電する電池冷却機能を搭載しています。冷却対応（通風穴付き）の蓄電池 EB 2430R と合わせて使用することによって、冷却ファンが送風して充電時間を短く、蓄電池に優しい充電をします。

1. 充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込む

充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込みますと、充電状態表示ランプが赤の点滅（周期 1 秒）を繰り返します。

2. 蓄電池を充電器に取付ける



蓄電池を左図に示す向きで、充電器の奥に当たるまでしっかりとさし込みますと充電を開始し、充電時間表示ランプが赤/橙/緑のいずれかに連続点灯して充電完了までの時間をお知らせします。

3. 充電する

(1) ランプの表示について

この充電器は充電時間の目安を表示する充電時間表示ランプと充電状態を表示する充電状態表示ランプがついてます。

(a) 充電時間の表示について

充電を開始し、充電時間表示ランプが赤に連続点灯すると約 30 分、橙に連続点灯すると約 20 分、緑に連続点灯すると約 5 分で充電が完了します。充電が完了すると充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と約 6 秒鳴ります。

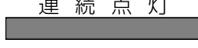
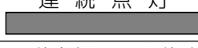
(b) 高温待機の表示について

蓄電池の温度が高くなっていると充電を開始しません。この場合は、充電時間表示ランプが赤の点滅（周期 0.6 秒）を繰り返しますのでそのまま充電器にさし込んでおいてください。蓄電池が冷めると自動的に充電を開始します。

(c) 充電不可の表示について

充電器または蓄電池に異常があるときは、充電状態表示ランプが橙の速い点滅（周期 0.2 秒）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 5 秒鳴ります。

ランプの表示

ランプの表示			表示内容
充電時間 表示ランプ (赤/橙/緑)	充電時間 30分	赤点灯 	充電完了まで約 30分
	充電時間 20分	橙点灯 	充電完了まで約 20分
	充電時間 5分	緑点灯 	充電完了まで約 5分
	高温待機	赤点滅 	蓄電池の温度が高くて充電できない。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ (赤/橙/緑)	充電前	赤点滅 	電源にさし込んだ状態
	充電完了	緑点灯 	
	充電不可	橙の速い点滅 	充電器または蓄電池に異常あり

(2) 充電時間について

蓄電池の充電時間は次のようになります。

充電時間 (気温 20℃)

充電器	蓄電池	充電時間
冷却対応 (ファン付き) UC 24YHA	EB 2430R	約 18分

4. 充電器のさし込みプラグを電源コンセントから抜く

コードを引っ張らず、さし込みプラグを持って抜きます。

5. 蓄電池を充電器から抜く

充電器を手で支え、蓄電池を充電器より抜き取ります。

これで充電完了です。

6. 蓄電池の活性化 (トリクル充電) について

新品または長期間使用しなかった蓄電池は、内部の化学物質が不活性 (ねぼけ) になっているため、満充電にならないことがあります。このようなときは、充電完了後も約 8～12時間蓄電池をさし込んだままにしてください。自動的にトリクル充電をおこない蓄電池が活性化されます。

7. 蓄電池を長持ちさせるコツ

(1) 蓄電池が空 (から) になる前に充電する

工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

(2) 高温時の充電は避ける

工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。

すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

- 注**
- さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。
そのまま使用すると、火災の恐れがあります。
 - 充電状態表示ランプが橙の速い点滅(周期 0.2 秒)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピ」 と約 5 秒鳴るときは、蓄電池の取付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。
異物が入っていたときは取り除いてください。異物が入っていないときは、充電器または蓄電池に異常があると考えられるので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
 - 蓄電池をさし込んでも、充電時間表示ランプが連続点灯または点滅しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、蓄電池の取付けが確実かどうか、確かめてください。
 - 蓄電池を直射日光の当たる所に長時間放置したり、使用した直後など蓄電池が熱をもっている場合には、充電時間表示ランプが赤の点滅をして、すぐに充電を開始しないことがあります。このようなときは、蓄電池を充電器にさし込んだままにしてください。蓄電池が冷めると自動的に充電を開始します。
 - 充電中にランプが消灯したときは、修理に出される前にさし込みプラグを電源コンセントから抜き、3～5分以上待ってから再度さし込んでください。
 - 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。
 - 充電時間の表示は周囲温度や蓄電池の状態により誤差がでることがありますので、目安としてお使いください。
 - 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - 使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がすぎたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。
寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
 - 使用不能の蓄電池は廃棄せずに、最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。

ご使用前に

1. 作業環境の整備・確認

作業をする場所が2ページの「コードレス工具の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

2. 蓄電池の取付けの確認

注 意

- 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

使 い 方

1. のこ刃の取付け・取りはずし

警 告

- のこ刃の取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。
思わぬ事故のもとになります。

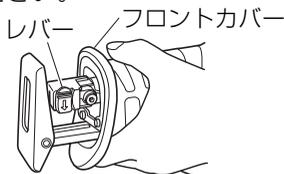
注 意

- のこ刃の取付け・取りはずしの際は、手など身体を傷つけないように十分注意してください。

この工具本体は、スパナやレンチなどの工具を使用しなくてもこの刃の取付けと取りはずしができる、ツールレス着脱機構を採用しています。

(1) のこ刃の取付け方

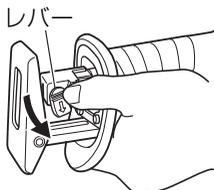
- (a) スイッチ引金の入り切りを繰り返して、レバーがフロントカバーからいっぱいまで飛び出した状態にします(下図)。その後、スイッチを切り、スイッチロックをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。



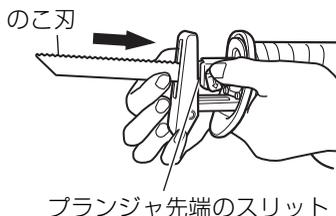
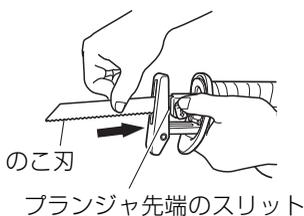
⚠ 警 告

- のこ刃の取付けの際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。思わぬ事故のもとになります。

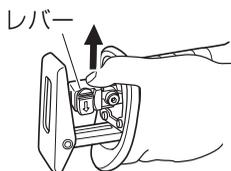
- (b) レバーを下図の矢印の方向(レバーに刻印された矢印と同じ方向)に押し下げてください。



- (c) レバーを押し下げたまま、のこ刃をプランジャ先端のスリットにいっぱいまでさし込んでください。のこ刃は上下どちらの方向にも取付けることができます。



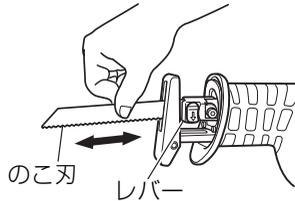
- (d) レバーから指を離すとスプリングの力で自動的に戻ります。



警告

- のこ刃を引張るときは、必ずのこ刃の背面を引張ってください。
刃のついている部分を引張ると、けがの原因になります。

(e) のこ刃の背面を指で2～3回引張り、のこ刃が確実に取付けられたことを確認してください。のこ刃を引張ったときに「カチャ」と音が生じてレバーがすこし動けば、確実に取付けができています。



(2) のこ刃の取りはずし方

スイッチ引金の入り切りを繰り返して、レバーがフロントカバーからいっぱいまで飛び出した状態にします（17ページの上図参照）。その後、スイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。

レバー（17ページの中図に示す）を矢印の方向に押し下げてから、のこ刃を下に向けてください。のこ刃は自然に落下します。自然に落下しない場合は、のこ刃を指で引張って取りはずしてください。

警告

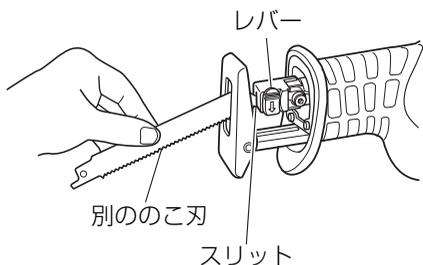
- のこ刃の取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。
思わぬ事故のもとになります。
- のこ刃を引張るときは、必ずのこ刃の背面を引張ってください。
刃のついている部分を引張ると、けがの原因になります。

注意

- 使用直後ののこ刃は高温になっているので触れないでください。
やけどの原因になります。

のこ刃が折れた場合

のこ刃が折れてプランジャのスリットの内部に残ってしまった場合、通常はレバーを矢印の方向に押し下げてから、のこ刃を下に付けることにより折れたのこ刃は自然に落下します。自然に落下しない場合は次のようにして取りはずしてください。

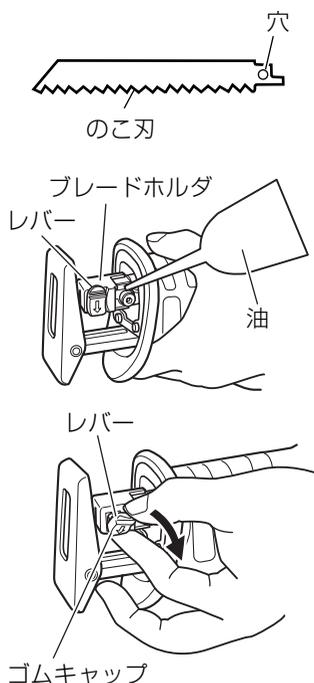


- (a) 折れたのこ刃の一部がブランジヤのスリットから飛び出している場合は、レバーを押し下げて飛び出している部分を引張って取りはずします。
- (b) 折れたのこ刃がスリットの内部にかくれてしまっている場合は、レバーを押し下げて別のこ刃の先端部分を使って、折れたのこ刃を引っかけて取りはずします。

(3) のこ刃取付け部の保守・点検について

⚠ 警告

• 穴部が摩耗したのこ刃を使用しないでください。(左上図)
はずれたりし、けがの原因になります。



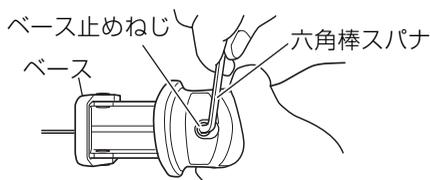
- (1) のこ刃取付け部がいつも円滑に動くように、ご使用後は切粉・土・砂・水分などをエアーで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。
- (2) 左中図のように、ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください。

注 • のこ刃取付け部の清掃や注油をしないで使用すると、切粉や粉じんによりレバーの動きが重くなることがあります。このような場合は、レバーに付いているゴムキャップを左下図の矢印方向に引っ張り、レバーからゴムキャップを取りはずしてください。そのあとに、エアーなどでブレードホルダ内部を清掃し注油をしてください。ゴムキャップはレバーに強く押し付けると取付きます。この時、ブレードホルダとゴムキャップにすき間がないことを確かめた後、のこ刃取付け部が円滑に動作することを確認してください。

(4) ベースの調整について

⚠ 警 告

- ベースの調整の際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。思わぬ事故のもとになります。

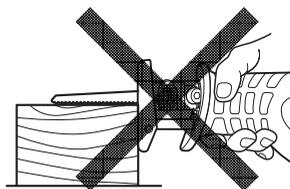
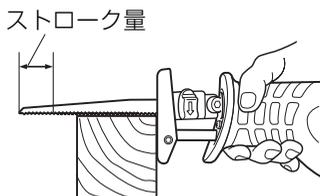
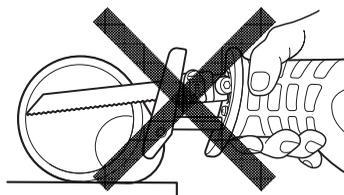
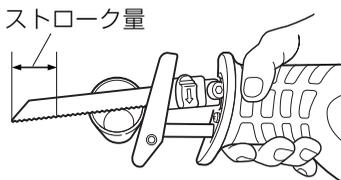


- (a) ベース止めねじを付属の六角棒スパナでゆるめて、ベースの取付け位置を調整します。
- (b) ベースを調整した後、ベース止めねじを付属の六角棒スパナで十分に締付けてください。

切 り 方

⚠ 警 告

- フロントカバー（7ページの図参照）をはずさないでください。必ずフロントカバーの上から工具本体を保持してください。
- 使用中はベースを切断材料に押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動によりのご刃を損傷することがあります。
- ご刃の長さは、上左図に示すようにストローク量をさし引いたのご刃のベースからの飛び出し長さが、切断材料より十分大きくなるように選んでください。
ご刃の切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ご刃先端がパイプ内壁または木材に当たってのご刃を折損する恐れがあります。（上右図）
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

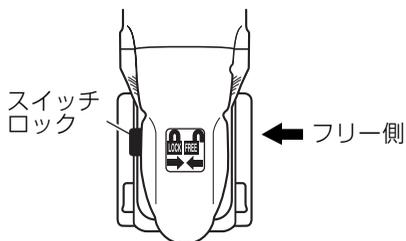
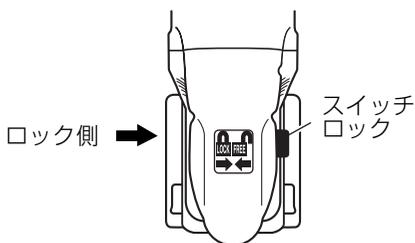


- 注** ・モーターの回転がロックしないように使用してください。
 数秒間ロックを続けると、モーターの焼損や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。
- ・作業時にはプランジャ部から切粉・土・砂・水分などが工具本体の内部に入らないように注意してください。切粉などがプランジャ部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください。
 - ・加工物の形状・厚さと、のこ刃形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

1. スイッチの操作

⚠ 注 意

- ・使用しないときは、必ず「スイッチロック」をロック側（右側）に押し込んでください。

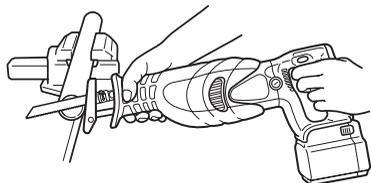


- (1) この工具本体には不用意にモーターが起動しないように、ハンドル上部に「スイッチロック」が付いております。「スイッチロック」をロック側（右側）に押し込むとスイッチ引金を引くことができません。（左上図）
 「スイッチロック」をフリー側（左側）に押し込むとスイッチ引金を引くことができ、モーターが起動します。（左下図）
- (2) スイッチ引金の引き込み量により、ストローク数が変わります。切断開始時、引金を少し引き込んでゆっくりスタートしてください。
 また、スイッチ引金をはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

2. 金属切断の場合

⚠ 注 意

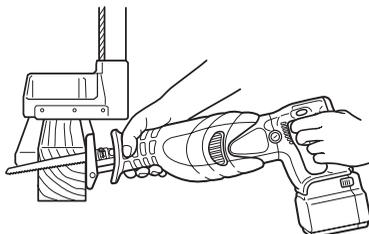
- 切断時に無理な力を加えないでください。
のこ刃を折損する恐れがあります。
- ベースを切断材にしっかり押し当ててください。



- (1) 加工物をしっかり固定して作業してください。
- (2) 金属切断の場合は切削油（ダービン油など）を使用してください。液状の切削油を使用しない場合は、グリースを加工物に塗ってください。

注 • 切削油を使用しないと、のこ刃の寿命が極端に短くなります。

3. 木材切断の場合



加工物がしっかり固定されているかどうか確かめてから作業してください。

注 • 切断時に無理な力を加えないでください。また、ベースを木材にしっかり押し当ててください。

4. 曲線に切る場合

⚠ 注 意

- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。
無理に速く送ると、のこ刃を折損する恐れがあります。

のこ刃は10ページの表2、丈夫で折れにくいバイメタルブレード（BI-METAL）をご使用ください。

5. 窓を抜く場合

この工具本体は、木製の合板パネルや薄板木材への窓抜き切断をすることができます。窓抜きは、下右図のようにのこ刃を逆に取り付けると容易に切断できます。のこ刃は、できるだけ短くて厚いのこ刃をご使用ください。10 ページの表 2、バイメタルブレードNo.132 をおすすめします。

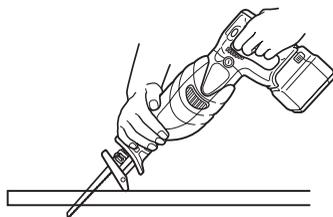
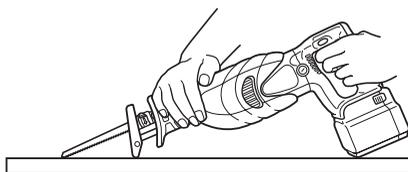
切断作業をする際は、以下の手順を守って慎重に作業してください。

- (1) ベース下部（または上部）を切断材料に押し当ててください。のこ刃の先端を材料から離れた状態でスイッチ引金を引きます。（下図）
- (2) ハンドルをゆっくり持ち上げて、少しずつのこ刃を切断材料に切り込みます。
- (3) のこ刃が完全に切断材料を突き抜けるまでしっかり工具本体を保持してください。

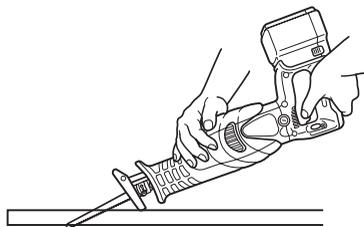
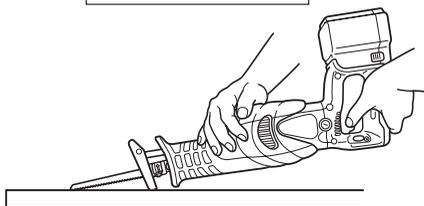
⚠ 警 告

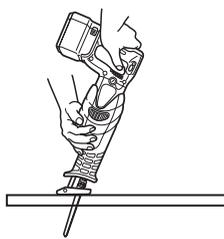
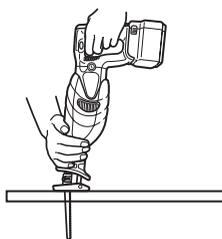
- 金属材料の窓抜き切断はしないでください。
のこ刃を折損する恐れがあります。
- のこ刃の先端を切断材料に押し付けた状態でスイッチ引金を引かないでください。
のこ刃先端が切断材料に勢いよく当たって、のこ刃を折損する恐れがあります。
- 必ず工具本体をしっかり保持して、ゆっくりと切断してください。
無理な力を加えて切断するとのこ刃を折損する恐れがあります。

のこ刃正取付け



のこ刃逆取付け





保守・点検



警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また充電器は、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. のこ刃の点検

切れ味が悪くなったのこ刃をそのまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、能率も落ちます。また、蓄電池の消費が増え、使用時間が短くなりますので早めに新品と交換してください。

2. 各部取付けねじの点検

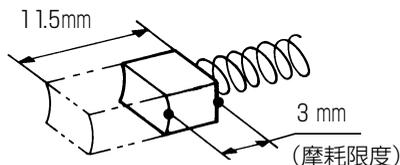
各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

3. カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因になります。長さが摩耗限度（3 mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

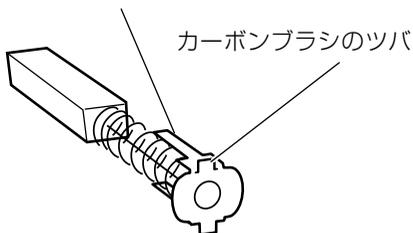


- 注** • 新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ（コード No. 999058）を使用してください。

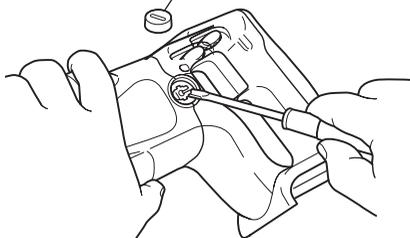
4. カーボンブラシの交換方法

カーボンブラシはブラシキャップをはずし、⊖ドライバーなどでカーボンブラシのツバを下図のように引っかけると取り出せます。

カーボンブラシのツメ

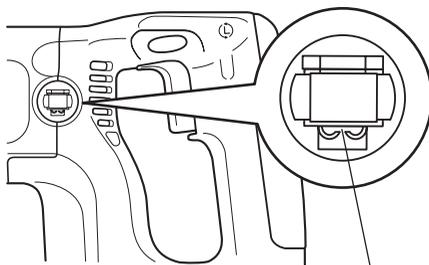


ブラシキャップ



取付けるときは、下図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブの外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込んでください。最後にブラシキャップを取付けてください。

- 注**・カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください（ツメは2ヶ所あるうちのどちらでもよい）。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。
- ・カーボンブラシを取り替える場合には、必ず2個一緒に交換してください。



ブラシチューブ外側の接触部

5. モーター部の取扱いについて

モーター部（7ページの図参照）の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

- 注**・ごみやほこりを排出するため、定期的にモーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
- モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

6. 表面のよごれ清掃

工具体体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布か、または石けん水をつけた布などでふいてください。塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をするので使わないでください。

7. 作業後の保管

作業後は温度が 50℃未満でお子様の手の届かない乾燥した場所に、蓄電池を工具体体から抜いて保管してください。

長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために蓄電池（ニッケル水素電池）は満充電にして保管することをおすすめします。

ご修理のときは

この工具体体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないで買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。また、蓄電池が使用不能の状態となり、廃棄処分される場合は、買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

蓄電池はリサイクルへ

この工具体体に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や工具体体の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。



Ni-MH

ニッケル水素電池は
リサイクルへ



Ni-Cd

ニカド電池は
リサイクルへ

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼される時便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目1番地1(日本生命札幌ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒110-0016	東京都台東区台東四丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)	☎(03) 5812-6331(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル)	☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号	☎(087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

